

授業科目	授業番号： 301			担当者	山口 祐司
	経済学			授業外対応	メール等で予約の上適宜対応します。
	〔履修年次〕	〔学期〕	〔単位〕	〔必修／選択〕	〔授業形態〕
	1 年	前期	2 単位	必修	講義方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】ミクロ経済学・マクロ経済学を中心に経済学の基礎的な考え方を学んでいきます。</p> <p>【概要】経済とは、生産・流通・分配・消費・廃棄の社会的つながりのことです。現代社会においてはこのつながりは主として市場の仕組みによって媒介され、市場の仕組みがうまく機能しない場合に政府が補います。この授業では、個々の経済主体の目線から見た市場の機能の問題を扱うミクロ経済学と、「国」のような大きな社会的まとまりで経済の動きを分析するマクロ経済学という、経済学の基礎となる 2 つの考え方を学んでいきます。</p> <p>【到達目標】経済学の基礎的な概念と理論を理解すること。新聞などに登場する時事的な経済問題について、自分なりの観点をもつこと。</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) プリント</p> <p>(2) マンキュー, N・グレゴリー (2014) 『マンキュー入門経済学 [第 2 版]』 東洋経済新報社</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1 回 授業ガイダンス、経済とは何か</p> <p>第 2 回 経済学の考え方</p> <p>第 3 回 ミクロ経済学の基礎 (1) 需要と供給</p> <p>第 4 回 ミクロ経済学の基礎 (2) 価格決定と政府の政策</p> <p>第 5 回 ミクロ経済学の基礎 (3) 市場の効率性</p> <p>第 6 回 ミクロ経済学の基礎 (4) 不完全市場</p> <p>第 7 回 ミクロ経済学の基礎 (5) ミクロ経済学のまとめ</p> <p>第 8 回 マクロ経済学の基礎 (1) GDP の測定</p> <p>第 9 回 マクロ経済学の基礎 (2) インフレーションとデフレーション</p> <p>第 10 回 マクロ経済学の基礎 (3) 経済成長</p> <p>第 11 回 マクロ経済学の基礎 (4) 貯蓄、投資と金融システム</p> <p>第 12 回 マクロ経済学の基礎 (5) マクロ経済政策の役割</p> <p>第 13 回 マクロ経済学の基礎 (6) 外国貿易</p> <p>第 14 回 マクロ経済学の基礎 (7) マクロ経済学のまとめ</p> <p>第 15 回 全体のまとめ、テスト対策</p>				
授業外学習 (予習・復習)	毎回の授業範囲の予習 (テキスト)・復習のほか、新聞の経済欄を日常から読むようにしてください。				
成績評価の方法	筆記試験 (60%)、毎回の授業で実施する授業まとめ (40%)				
実務経験について	なし。				